



事例No.35 iPadを活用したWeb会議システム

事業所名 企業名	株式会社三重銀行 公式ホームページ：www.miebank.co.jp/				
所在地	四日市市	従業員数	1,320名 (2016年9月中間期)	産業分類	銀行業

【事例の詳細】

機能	web会議	使用 機器等	iPad
取組 内容	<p>当行では「Web会議システム」を利用しています。簡単な操作で高品質の画像や音声をやり取りできる仕組みで、現在本店・支店間での会議や打合せ、研修や勉強会、BCP対策など、多岐に亘って利用しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
導入 プロセス	<p>以前から商品知識向上の勉強会を実施していましたが、営業終了後に本店や各エリアの母店に集まって実施することから、行員の移動負荷や交通費などのコスト、閉店後の事務への影響などの問題があり、これらの解決策として、移動せずに会議や打合せ、勉強会、研修ができないものかと考え、「Web会議システム」の導入を検討しました。</p> <p>利用端末としては、以前から利用していた約400台のiPadを有効活用することにより、店舗内での研修や会議用途だけでなく、災害発生時の営業店の状況報告などにも効果を発揮すると考え、沖電気工業の「Visual Nexus」をiPadで利用することとしました。沖電気工業には取組みにご苦労があったと思われませんが、とても協力的に開発に携わっていただきました。開発にあたっては、外部侵入などを防ぐためのセキュリティーにこだわり、既存のiPadを利用することで、新規導入コストを抑えることができました。沖電気工業の紹介で「Web会議システム」に最適なヤマハの最先端マイクスピーカー（YVC-300）も導入し、Bluetoothで接続することで、格段に優れた音声品質を実現でき、使いやすく本格的なものへと進化しています。</p>		
成果 効果	<p>会議や勉強会が場所を選ばずに実施できるようになり、行員の移動負担の軽減やコスト、業務負荷などの問題を解決できました。情報共有化もより正確でダイレクトに、またリアルタイムに行うことができるようになり、行員からも好評です。</p> <p>2011年の東日本大震災の発生前後から、国内行政や企業間でも災害時の「BCP対策」が問われ始めていたタイミングでもあり、機動性や持ち運びのメリットを考えると、機器をiPadにした選択は正しかったと考えています。</p> <p>今後は、更に会議や研修の充実を目指し、「BCP対策」の訓練も重ね、完成度を上げていきたいと考えています。</p>		

【取組みの狙い】

企業ブランドの強化	品質向上	従業員の成長サポート
独自性・独創性の創造・強化	付加価値の創造・強化	労働環境の改善
商圏・販売チャネル・新規顧客の拡大・開拓	生産・業務効率の向上	勤怠管理の効率化
顧客満足度の向上	生産・業務プロセスの改善	その他
価値・品質の見える化	情報管理の効率化	